

別紙

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

ジャパン マリンユナイテッド株式会社 呉事業所

(2) 事業所の所在地

広島県呉市昭和町2番1号

(3) 業種

3131 船舶製造・修理業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25年度を基準年度とし、令和6年度から令和10年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況 《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成25年度 (2013)	令和10年度 (2028)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
エネルギー 起源CO ₂	31,614	16,220	21,917	16,089	18,614	17,073	17,199
		48.69	30.67	49.11	41.12	46.00	18.86
非エネルギー 起源CO ₂		0	0	0	0	0	0
メタン		0	0	0	0	0	0
一酸化二窒素		0	0	0	0	0	0
その他 温室効果ガス		0	0	0	0	0	0
温室効果ガス 実排出量総計	31,614	16,220	21,917	16,089	18,614	17,073	17,199
		48.69	30.67	49.11	41.12	46.00	45.60
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	塗装工場のコンディショニング（台風にて出勤停止となった8/29～8/31戻り錆防止のため空調機をフル稼働。塗装工場の操業が高く、長残の日が多かった）と夏季の熱中症対策（デマンド管理を目的としたリースのコンプレッサーは前年度7台から9台へ変更。（燃料は軽油））により温室効果ガスの排出量は増加。						

※ 削減率(c) = ((a) - (b)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：総労働時間

温室効果 ガスの種類	基準年度 原単位(a)	目標年度 上段：原単位(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比(e))				
エネルギー 起源CO ₂							
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他							

温室効果ガス							
温室効果ガス 総排出量							
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = $((a) - (b)) / (a) \times 100$ 削減量の対基準年度比(e) = $((a) - (d)) / (a) \times 100$

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	燃料使用量の削減 同上	軽油の使用量を年1%削減	・構内車両の効率的使用。 ・アイドリングストップなどエコドライブの実践。
		都市ガスの使用量を年1%削減	・都市ガス配管のリークは、省エネパトロールを実施して早急に補修する。 ・要求管理の効率化。 ・冷暖房の適正な運用管理を実施。
2	電力使用量の削減	電力使用量を年1%削減	・省エネパトロールを強化して、エアーライン及びエネルギー供給ラインの漏洩を削減。 ・配電電圧損失を削減 ・エアコンの運用管理を徹底。 ・旧変圧器を高効率変圧器に更新。 ・蛍光灯・水銀灯はLED照明器具に取替。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
	省エネ推進活動を展開	電力使用量を年1%削減	・工場と総合ハウスは、適正な照度によるLED照明への変更。 ・各職場で電力使用量をデータにて管理。 ・溶接棒乾燥箱の格納量に応じて買替 ・省エネの啓蒙活動として「かわら版」の発行により、節電等の協力を依頼。（夏季、冬季の空調管理等）
	廃棄物の削減	廃棄物を年1%削減する	・5R運動を展開してゴミの排出量の削減。 ・再生可能な廃紙を100%回収。 ・従業員に理解と協力を得る教育。

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。